

お わ り に

平成9年度10年度の2年間にわたり、情報教育研究部では「情報通信ネットワークの活用に関する研究」に取り組み、その成果を「教育資料」にまとめることができました。研究を進めるに当たり、研究協力者の方々や協力校の関係者の方々には、貴重な御助言や授業等での実践などの御協力をいただきました。ここにあらためてお礼を申し上げます。

ここにこの研究の一応のまとめを致しましたが、申すまでもなく、学校教育において、情報活用能力の育成は今後ますます重要な課題となってまいります。中でも、ネットワークの活用はこれからの情報教育の中核的な位置を占めるものと言っても過言ではありません。情報教育推進に係る研究事業と教職員研修事業を職務とする私たちにとっては、このテーマはこれからも主要な課題として持ち続けるべきものだとは自覚しています。例えば、ネットワーク活用に関して、学校調査と教職員調査を行い、その結果をまとめ、分析いたしました。その中で、パソコンやインターネットを授業で活用したいと考えておられるのは、教職経験年数の多いすなわちベテランの先生の方が若い先生方よりも率が高いという調査結果が出ました。私たちの調査前の予想とは逆の結果であります。これをどう受け止めるかということについては、このアンケートだけで判断することはできません。来年度以降、研究事業や研修事業などを通して、先生方が授業改善への取組の一つとして、情報機器やインターネットなどをどのように活用しようと考えておられるかなどを分析することにより、この点を更に深めていこうと考えております。

学校等におきましても、この教育資料を活用いただいて、児童生徒の情報活用能力の育成に向けて更なるお取り組みをいただければと願っております。

なお、この研究の中の教職員調査については、対象者のうちの半数以上が学校における情報教育（ネットワーク）担当者であるという事情もあって、今までに実施された同種の調査に比べて、高い数値になっているという面があるということを示し添えます。

来年度以降も、情報教育推進に関する研究を続けてまいります。御協力をよろしくお願い申し上げます。

京都府総合教育センター 情報教育研究部